

# 大分都市広域圏 令和元年度事業実績および令和2年度事業について

## (1) 圏域全体の経済成長のけん引

No.	取組項目	取組内容	部会	令和元年度事業実績	令和2年度取組事業	取組の評価と今後について				
1	圏域を構成する各市町の特徴を十分に生かした経済成長のための経済戦略の策定及び産学金官民一体となった体制整備	圏域内の企業、大学、研究機関、金融機関、連携する市町等が一体となった経済戦略推進体制の構築に取り組む。	幹事会	<ul style="list-style-type: none"> <li>・大分都市広域圏推進会議の開催</li> <li>・大分都市広域圏ビジョン会議の開催</li> <li>・重要業績評価指標KPIによる事業の進捗管理</li> </ul>	引き続き、各市町の特徴を十分に生かした経済成長のための体制構築に向けて、圏域内の関係機関との連携を検討していく。	令和元年度は新たに4団体（企業）と包括連携協定を締結した。今年度は、1団体（企業）と締結に向けて調整中である。今後は、これらの団体（企業）との連携を進めるとともに、引き続きJR大分シティとの協定のもと、大分駅前広場において、観光振興や農林水産物の宣伝・販売なども推進していく。				
	KPI (重要業績評価指標)	R1 目標値					R1 実績値	R2 目標値	達成率	
	自治体と企業等との連携協定締結数【累積】	72件	72件 (+4)	75件	100.0%					
2	中堅企業及び中小企業の経営強化、創業促進等を核とした戦略産業の育成	経済戦略に基づき、圏域の戦略産業の育成に取り組む。	商工観光部会	<ul style="list-style-type: none"> <li>＜産業活性化プラザ事業＞</li> <li>・講座数：29</li> <li>・大分市を除く圏域からの受講者数：延べ77人</li> <li>※アンケートで把握可能な講座のみ</li> <li>・総受講者数：延べ1,268人</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>＜産業活性化プラザ事業＞</li> <li>※講座の開催は新型コロナウイルス感染症の影響により、令和2年4月1日から9月30日まで停止していたが、10月1日から再開することとなった。今後も感染状況を見きわめ、十分な感染症対策をしたうえで講座を開催する。</li> </ul>	各市町において創業者に対する支援を行っている。今後とも、創業に向けた支援などの情報発信を連携して取り組むとともに、圏域内企業の異業種間交流の機会を創出するなど、圏域内外への販路拡大や技術力向上のための企業間連携を促進する必要がある。また、新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から、感染予防対策の他、講座の開催方法等も検討が必要である。				
	KPI (重要業績評価指標)	R1 目標値					R1 実績値	R2 目標値	達成率	
	創業支援を活用した創業者数【単年】	295人	290人	295人	98.3%					
3	企業誘致の促進	経済戦略に基づき、圏域への企業誘致に取り組む。	商工観光部会	県企業立地推進課と連携し情報共有を図る中で企業誘致に取り組んでいる。	県企業立地推進課と連携し情報共有を図る中で企業誘致に取り組んでいる。	現在、各市町で企業誘致に向けた取組を行っているところであるが、今後は企業立地に必要な情報発信などの連携について検討する必要がある。				
	KPI (重要業績評価指標)	R1 目標値					R1 実績値	R2 目標値	達成率	
	圏域外からの誘致企業件数【単年】	40件	26件	40件	65.0%					
4	地域資源を活用した地域経済の裾野拡大	経済戦略に基づき、圏域の多彩な地場産品のブランドの育成及び販路の拡大に取り組む。	商工観光部会	<ul style="list-style-type: none"> <li>＜歩行者天国実施事業＞</li> <li>歩行者天国を3回（6月、10月、11月）実施するなか、イベントコンテンツの一つとして市町連携ブースを設置した。</li> <li>参加市：6月11自治体【大分市、臼杵市、津久見市、豊後大野市、由布市】</li> <li>10月 6自治体【別府市、津久見市、豊後大野市、竹田市】</li> <li>11月10自治体【大分市、臼杵市、津久見市、豊後大野市】</li> <li>＜食と暮らしの祭典開催事業＞</li> <li>市町村連携ブースを出店</li> <li>参加市町：豊後大野市、別府市、日出町、臼杵市、由布市</li> <li>＜まちなか出店サポートセンター事業＞</li> <li>【产品销售】開催回数：67回 来場者数：11,132名</li> <li>【ワークショップ】開催回数：5回 参加者数：43名（参加：豊後大野市）</li> <li>＜中心市街地プロモーション事業＞</li> <li>大分市による市町連携イベント・・・3件</li> <li>①竹田市・豊後大野市・由布市・臼杵市・津久見市</li> <li>②別府市・由布市・豊後大野市・臼杵市・津久見市・竹田市</li> <li>③豊後大野市・津久見市・臼杵市</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>＜歩行者天国実施事業＞</li> <li>歩行者天国を3回（5月、9月、10月）実施予定であったが、新型コロナウイルス感染症の影響により、全て開催延期となった。今後の開催については、新型コロナウイルス感染症の影響を見極めながら検討する。</li> <li>＜食と暮らしの祭典開催事業＞</li> <li>10月11日に開催（10日は台風により中止、11日のみ開催）</li> <li>参加市町：豊後大野市、別府市、津久見市</li> <li>＜まちなか出店サポートセンター事業＞</li> <li>【产品销售】開催回数：27回 来場者数：3,123名</li> <li>【ワークショップ】開催回数：0回（新型コロナウイルス感染症の影響）</li> <li>今後も新型コロナウイルス感染症の影響を見きわめながら実施していく。</li> <li>＜中心市街地プロモーション事業＞</li> <li>大分市による市町村連携イベント・・・1件</li> <li>津久見市、豊後高田市、豊後大野市、別府市、中津市</li> </ul>	毎年、「歩行者天国実施事業」に市町連携ブースを設置し、販路拡大に取り組んできたが、今年度は新型コロナウイルス感染症拡大の影響により開催を延期した。今後は感染状況を見きわめたくして開催を検討するが、実施にあたっては市町連携ブースの拡充やイベントを行う等、販路拡大に向けた取組を進めていく。また、「まちなか出店サポートセンター事業」や「中心市街地プロモーション事業」についても、新型コロナウイルス感染症の影響により、今年度は事業規模の縮小を余儀なくされた。今後は、感染状況により、実施可能なタイミングを見きわめ、圏域各市町の特産品や農林水産物の販売、観光・イベント等をPRできる拠点を確保し、出展を希望する自治体の出展期間等の調整及び運営サポートを行うこととしている。				
	KPI (重要業績評価指標)	R1 目標値					R1 実績値	R2 目標値	達成率	
		大都市圏等における販路拡大イベントの開催回数【累積】					78回	107回 (+31)	100回	137.2%
		海外への経済交流支援企業数【単年】					40件	42件	40件	105.0%
5	戦略的な観光施策	経済戦略に基づき、回遊型観光ルートの造成及びMICEの誘致に取り組む。	商工観光部会	<ul style="list-style-type: none"> <li>＜大分都市広域圏観光PR事業＞</li> <li>○パンフレット更新・増刷および周遊観光ルートのプロモーション内訳：日本語（20,000部）</li> <li>配布場所：観光案内所等</li> <li>○発見！ 体験！ おおいた観光物産展in新宿</li> <li>開催日時：令和元年8月26日・27日</li> <li>開催場所：JR新宿駅西口広場 イベントコーナー</li> <li>来場者数：約32,000人（参加：大分市、臼杵市、由布市、別府市）</li> <li>＜サイクリングイベント開催準備事業＞</li> <li>・関係各市（大分市、豊後大野市、竹田市、由布市）による担当者会議の実施</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>＜大分都市広域圏観光PR事業＞</li> <li>○パンフレットの更新・増刷</li> <li>○首都圏における魅力発信イベントを11月下旬に実施予定であったが、新型コロナウイルス感染症の東京での影響が見通せないことから、開催を見送り中止とした。</li> <li>＜サイクリングイベント開催準備事業＞</li> <li>・令和2年6月5日 第2回担当者会議（大分市、豊後大野市、竹田市、由布市）</li> <li>・令和2年6月28日 第1回テストライド（大分市、豊後大野市、竹田市、由布市）※九重町も参加</li> <li>・第2回テストライドの開催予定</li> <li>・サイクリング大会の視察（未定）</li> </ul>	大都市圏等における販路拡大イベントについて、令和元年度は新宿（東京都）で開催した。本年度は日本橋（東京都）で行う予定であったが、新型コロナウイルス感染症拡大の影響により開催が中止となったため、今後は従来のイベント開催の形にとらわれず、withコロナ・Afterコロナにおいて実施可能な魅力発信の在り方を検討する中で、首都圏における魅力発信事業を実施し、観光客の誘致を図る。				
	KPI (重要業績評価指標)	R1 目標値					R1 実績値	R2 目標値	達成率	
	圏域内観光入込客数【単年】	25,000,000人	23,000,731人	25,000,000人	92.0%					

(2) 高次の都市機能の集積・強化

No.	取組項目	取組内容				部会	令和元年度事業実績	令和2年度取組事業	取組の評価と今後について
6	広域的災害等に関する機能の構築	広域的な災害等に対応するため、災害時備蓄品の充実等を図るとともに、災害時における自治体間の連携に取り組む。				防災部会	<p>&lt;RWC2019消防・救急体制整備に関する応援協定締結&gt;                      RWC2019大会会場開催日：10月2日、5日、9日、19日、20日                      会場：昭和電工ドーム</p> <p>○ 応援協定に基づく応援に関する連携強化及び会場警備体制構築                      ○ 災害備蓄品の購入（テロ等によるNBC災害対応資機材）                      令和元年度RWC2019消防救急体制整備事業補助金により化学剤検知器、生物剤検知器、訓練用擬剤、前面マスク吸収缶、陽圧式化学防護服、中和剤、除染シャワー、被除染者簡易服、ターネケット、エアータント、負傷者用ベッドの購入</p>	<p>&lt;消防本部（局）協定及び会議等&gt;                      ○ 大分県常備消防相互応援協定                      大分県下の14消防本部は、市長及び管理者により協定及び覚書を締結し、相互応援協定に基づく実働訓練、頭上訓練を毎年交互に実施                      ○ 大分県高速自動車道等消防連絡協議会                      高速道等における消防業務の円滑かつ適正な運営に寄与することを目的として設置（平成7年）                      ○ 大分県鉄道消防連絡会                      鉄道等における迅速かつ的確な消防活動の実施、安全管理体制の確保及び鉄道業務の円滑な運営に寄与することを目的として設置（平成28年）等</p>	<p>令和元年度については、平成30年度から準備を行っていたRWC開催時の緊急時応援体制の構築を行ったほか、協定消防本部との合同研修を行った。                      今後も引き続き、部会において広域的な災害時等に対応するため、各市町の連携や情報共有に取り組んでいく。                      下水汚泥固形燃料化事業は、令和元年度に大分県広域化・共同化検討会を通じて事業の広域化を呼びかけ、別府市と佐伯市から参加の意向が示され、事業者選定に向けたアドバイザー業務委託を発注した。                      令和2年度は、臼杵市、津久見市、日出町、杵築市、豊後高田市の5市も新たに参加表明を示す等、大分都市広域圏の枠組みを超えた連携を推進し、令和6年度中の供用開始を目指して取り組んでいく。</p>
	KPI (重要業績評価指標)	R1 目標値	R1 実績値	R2 目標値	達成率				
	小中学校における備蓄物資の配備箇所数【累積】	112箇所	109箇所(+3)	115箇所	97.3%				
7	広域的公共交通網の構築	圏域全体に都市的サービスを提供する環境、圏域の内外から多様な人々が集まる環境及び大都市への若者の流出に歯止めをかける環境を構築する目的で、高次都市機能の集積した中心拠点としての広域的公共交通網の構築に取り組む。				幹事会	<p>&lt;豊予海峡ルート推進事業&gt;                      ・大分県・愛媛県の両県主導による協議会（愛媛西伊予・大分中部地域間交流促進協議会）を通じて、関係自治体と交流促進事業を行った。</p> <p>1.旅行代理店FAMツアー                      2.相互交流事業                      3.サイクリング姉妹大会の実施                      4.フェリー活用イベント「友情の船」の実施                      5.豊予海峡交流促進事業補助 等</p>	<p>&lt;愛媛・大分交流市町村連絡会議&gt;                      ・愛媛西伊予・大分中部地域間交流促進協議会が令和元年度末をもって終了したことから、これに代わり、令和2年5月29日大分・愛媛18市町の参加表明により、愛媛・大分交流市町村連絡会議を発足した。今後も連絡会議を通じて、関係自治体間の交流促進事業を行う予定である（一部の事業については、新型コロナウイルス感染症の影響で中止となった）。</p> <p>1.首長サミット（令和3年2月2日開催予定）                      2.スポーツ農泊交流事業（中止）                      3.広報誌相互掲載事業（令和2年11月開始）                      4.豊予海峡交流事業補助</p>	<p>今後、各市町で課題や情報の共有を図る中、広域へのアクセス性に優れた公共交通網の充実に向け、圏域を超えたより広範囲での関係自治体・関係機関との交流イベントなど機運の醸成も含んだ連携を強化していく必要がある。</p>
	KPI (重要業績評価指標)	R1 目標値	R1 実績値	R2 目標値	達成率				
	圏域内観光入込客数【単年】(再掲)	25,000,000人	23,000,731人	25,000,000人	92.0%				
圏域内鉄道1日あたり乗降人員【単年】	120,000人	-	120,000人	-					
8	高等教育・研究開発の環境整備	将来を担う人材の育成を支援するため、高等教育・研究開発の環境整備に取り組む。				幹事会	<p>大分大学や日本文理大学等（COC+）と連携し圏域共通の課題解決に向けた取り組みを検討</p>	<p>大分大学や日本文理大学等（COC+）と連携し圏域共通の課題解決に向けた取り組みを検討</p>	<p>現在、各市町で大学等と協定を締結し事業を行っているところであるが、今後は、圏域共通の課題解決に向けた連携事業を構築するとともに、将来の圏域を担うリーダーの育成に向け、関係機関との連携のもと、高校生・大学生を対象とした取組を検討する必要がある。</p>
	KPI (重要業績評価指標)	R1 目標値	R1 実績値	R2 目標値	達成率				
	大学等との連携事業件数【単年】	120件	51件	120件	42.5%				

(3) 圏域全体の生活関連機能サービスの向上

No.	取組項目	取組内容	部会	令和元年度事業実績	令和2年度取組事業	取組の評価と今後について			
9	公共施設の相互利用の促進	圏域内の公共施設の相互利用を促進し、住民活動を支援するとともに、サービスの充実を図る。	幹事会	<p>&lt;おおいた公共施設案内・予約システム調達業務&gt;                      ・システム業者の選定、契約及び公共施設案内・予約システム構築が完成し、稼働を開始                      (スポーツ(体育)施設が予約可能、文化施設の一部が予約可能)</p>	<p>&lt;おおいた公共施設案内・予約システム管理事業&gt;                      ・「大分市大洲総合体育館」「のつはる天空広場」の予約システム稼働が開始</p>	<p>平成29年度から圏域内の文化・体育施設等の相互利用を促進することを目的に「おおいた公共施設案内・予約システム」の構築を進めた結果、平成31年4月に大分市の文化施設を除いた予定施設について稼働を実施した。残る大分市文化施設についても一部を除き、令和元年9月13日にシステム稼働が完了した。                      今後は各市町が有する公共施設の相互利用のさらなる促進により、圏域住民の利便性向上を図るとともに、施設稼働率の向上を実現し地域経済への波及効果を上げる取組が必要である。</p>			
	KPI (重要業績評価指標)	R1 目標値					R1 実績値	R2 目標値	達成率
	主要公共施設利用者数【単年】	3,670,000人					3,238,284人	3,670,000人	88.2%
10	広域的教育の連携	学校や地域の実情に応じ、特色ある教育活動を生かした交流等による連携を図る。	幹事会	<p>&lt;大分都市広域圏小中学生交流事業&gt;                      令和元年度大分都市広域圏小中学生交流大会                      「豊後大野市ジオパーク体験                      ～新しい仲間と太鼓体験&amp;ジオサイトを体感しよう!～」                      ○日時 令和元年10月6日(日)10:00～16:00                      ○場所 豊後大野市清川中学校、神楽会館、原尻の滝、倶楽の郷                      ○参加児童生徒数 72名                      大分市26、別府市5、日出町3、由布市12                      竹田市1、豊後大野市14、臼杵市6、津久見市5</p>	<p>&lt;大分都市広域圏小中学生交流事業&gt;                      ・令和2年度第1回大分都市広域圏小中学生交流事業担当会の開催                      ・10月に実施予定であった「令和2年度大分都市広域圏小中学生交流大会(別府市・日出町開催)」については、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止となった。                      今後は新型コロナウイルス感染症の感染状況を見きわめ、十分な感染防止対策を取りつつも、地域の文化を活かした実りある交流の場を設けることが必要である。</p>				
	KPI (重要業績評価指標)	R1 目標値				R1 実績値	R2 目標値	達成率	
	広域体験活動事業実施数【累積】	2件				2件	3件	100.0%	
11	文化・芸術の振興	地域の特色ある文化・芸術活動を推進し、圏域内外の交流を促すことにより、交流人口の拡大及び地域の活性化を図る。	幹事会	<p>&lt;アートレジオン推進事業&gt;                      ・おおいたアートコレクション                      内容：合同展覧会及びワークショップ                      期間：令和2年3月16日～22日                      参加市町：大分市、別府市、臼杵市、竹田市、豊後大野市、日出町                      ※新型コロナウイルス感染症の影響により中止                      ・おおいたアーティスト移住・定住ガイドブック                      内容：アーティストのインタビューや各市町の魅力                      移住・定住情報等を紹介                      発行：令和2年1月                      ・おおいたアート移住・定住見学ツアー                      月日：令和2年2月22日・23日                      参加者数：9人                      参加市町：大分市・別府市                      ※新型コロナウイルスの影響により一部キャンセル</p>	<p>&lt;アートレジオン推進事業&gt;                      ・大分都市広域圏によるアートイベント                      内容：合同展覧会及びワークショップ                      期間：令和3年2月22日～28日                      場所：アートプラザ                      参加市町：調整中</p>	<p>令和元年度、新たにアーティスト移住ガイドブックを作成するなど広報を積極的に行い、事業の展開を図った。その一方で、新型コロナウイルス感染症の影響により、予定していた事業が中止・一部キャンセルとなった。                      今後は、引き続き、各市町が連携して文化・芸術活動を推進し、交流人口の拡大及び地域の活性化を図る必要がある。</p>			
	KPI (重要業績評価指標)	R1 目標値					R1 実績値	R2 目標値	達成率
	圏域内観光入込客数【単年】(再掲)	25,000,000人					23,000,731人	25,000,000人	92.0%
大分市美術館・大分市文化ホール利用者数【単年】	918,000人	610,645人	918,000人	66.5%					
12	スポーツの振興	スポーツ活動を通じた、健康の保持・増進及び地域交流を促進するため、住民が様々なスポーツに触れる機会を幅広く提供するなど、スポーツの振興に取り組む。	幹事会	<p>&lt;おおいた公共施設案内・予約システム調達業務&gt;                      ・システム業者の選定、契約及び公共施設案内・予約システム構築が完成し、稼働を開始                      (スポーツ(体育)施設が予約可能、文化施設の一部が予約可能)</p>	<p>&lt;おおいた公共施設案内・予約システム調達業務&gt;                      ・「大分市大洲総合体育館」「のつはる天空広場」の予約システム稼働が開始</p>	<p>圏域内の文化・体育施設等の相互利用を促進することを目的に「おおいた公共施設案内・予約システム」の構築し、平成31年4月の稼働が完了した。今後は当システムを活用しスポーツに触れる機会を幅広く提供するなど、スポーツの振興に取り組んでいく。</p>			
	KPI (重要業績評価指標)	R1 目標値					R1 実績値	R2 目標値	達成率
	圏域内主要体育施設利用者数【単年】	2,740,000人					2,479,524人	2,740,000人	90.5%
プロスポーツ合宿誘致数【累積】	12件	28件(+16)	15件	233.3%					
13	文化財等の保護及び活用	圏域内の文化財等の保護に努め、それらを地域資源として活用し、地域の歴史・文化に対する住民の認識を高めるとともに、圏域内外の交流を促進する。	幹事会	<p>&lt;クリスチアン・南蛮文化交流事業&gt;                      ・クリスチアン南蛮文化交流協定協議会(実行委員会)開催(2回)                      参加市町：大分市、臼杵市、津久見市、竹田市、由布市、日出町                      ・クリスチアン南蛮文化交流協定協議会(作業部会)の開催(5回)                      ・「第7回宗麟公まつり」(令和元年10月5日、6日)での協議会ブースの展開</p>	<p>&lt;クリスチアン・南蛮文化交流事業&gt;                      ・クリスチアン南蛮文化交流協定協議会の実行委員会及び作業部会の開催(11月～)                      参加市町：大分市、臼杵市、津久見市、竹田市、由布市、日出町                      ※現在、新型コロナウイルス感染症防止のため取組事業なし。</p>	<p>令和元年度は、圏域内の文化財等の保護に努め、それらを地域資源として活用し、地域の歴史・文化に対する住民の認識を高めるとともに、圏域内外の交流を促進することを目的に「クリスチアン・南蛮文化交流事業」を行った。今後も引き続き、各市町で連携した取組を検討する必要がある。</p>			
	KPI (重要業績評価指標)	R1 目標値					R1 実績値	R2 目標値	達成率
	大分市歴史資料館入場者数【単年】	47,000人					44,433人	47,000人	94.5%

No.	取組項目		取組内容			部会	令和元年度事業実績	令和2年度取組事業	取組の評価と今後について
14	市民活動の推進		圏域内における市民活動を促進するため、地域住民、NPO団体、企業等との交流及び活動の支援に取り組む。			幹事会	NPOをはじめとした各種団体と自治体が連携し、ネットワークコミュニティの構築に向けた協議を進めている	NPOをはじめとした各種団体と自治体が連携し、ネットワークコミュニティの構築に向けた協議を進めている	圏域内のNPO団体等の活動や交流の支援について、各市町で連携した取組を検討する必要がある。
	KPI (重要業績評価指標)	R1 目標値	R1 実績値	R2 目標値	達成率				
	圏域内NPO法人数【単年】	380法人	342法人	380法人	90.0%				
15	広域的な情報ネットワークの整備		住民、観光客等の利便性及び回遊性の向上を図るとともに、地域の観光、防災等の情報を即時に発信するため、広域的な情報ネットワークの整備を促進する。			幹事会	<p>&lt;無料公衆無線LAN推進事業&gt; 大分市：46施設 別府市：20施設 由布市：8施設</p> <p>合計74施設</p>	<p>&lt;無料公衆無線LAN推進事業&gt; 大分市：50施設 別府市：20施設 由布市：8施設</p> <p>&lt;クラウド型システムの共同利用による上下水道台帳総合システムの整備&gt; 日本水道協会大分県支部の活動や大分県水道ビジョンの取組みを通して県内各自治体に管路等設備台帳の共同利用を呼びかけている。各ベンダーに情報提供依頼しながら仕様を決定して公告、大分市で事業者を決定して契約する。</p>	<p>外国人観光客へのインターネットアクセス環境の提供や情報発信力の向上を目的に、大分市・別府市・由布市で連携し無料公衆無線LAN(Onsen Oita WiFi City)の整備を行っている。令和元年度は74であった施設のアクセスポイントを本年度新たに4施設増設した。今後も引き続き、アクセスポイントの拡大を図ることにより、外国人をはじめ観光客の利便性の向上や情報発信に取り組むと共に、クラウド型システムの共同利用による上下水道施設台帳の整備についても事業の組立を推進していく。</p>
	KPI (重要業績評価指標)	R1 目標値	R1 実績値	R2 目標値	達成率				
	Onsen Oita WiFi City アクセス数【単年】	445,000 アクセス	549,082 アクセス	445,000 アクセス	123.4%				
16	人材育成・交流		職員の資質及び公務能力の向上を図るため、職員の相互派遣及び交流の強化に取り組む。			幹事会	<p>&lt;連携強化のための圏域職員研修事業&gt; ・能力開発研修「こころを掴む対応技術向上研修」(11月27日) (総参加者数：104人(うち圏域市町参加者数15人)) ・一般職員教養講座「一流の人材を育てるディズニーの法則」(1月21日)(総参加者数：101人(うち圏域市町参加者数13人)) ・管理職員教養講座「一流の人材を育てるディズニーの法則」(1月22日)(総参加者数：97人(うち圏域参加者数12人))</p> <p>&lt;大分都市広域圏未来創造塾&gt; ・令和元年6月10日 開講圏域内の若手職員による政策研究チーム「未来創造塾」を立ち上げ(令和元年6月10日開講)、圏域で抱える広域的な課題について調査・研究を行い、新しい発想のもと実効性のある施策の提案を行うことを目的とする。 ・令和元年度大分都市広域圏推進会議で中間報告 ・令和元年11月19日 別府市長との講和・意見交換会を開催 ・令和2年2月13日 明治大学木村教授による講演 ・令和2年2月26日 日本文理大学 吉村教授による講演</p>	<p>&lt;連携強化のための圏域職員研修事業&gt; 令和元年度と同様に連携強化のための圏域職員研修事業を行う予定であったが、新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止の観点から中止とした。</p> <p>&lt;大分都市広域圏未来創造塾&gt; 令和2年11月26日に開催予定の大分都市広域圏推進会議での政策提案に向け、塾生を中心に各市町の関係各課と連携しながら、提案内容の調整を進めている。 【提案内容】 ① 子育て支援の情報発信について ② 企業誘致における情報発信の共有化について ③ 病児・病後児保育について ④ 広域的な移動手段の構築について</p>	<p>令和元年度は大分都市広域圏の職員の資質向上を目的に大分都市広域圏合同研修会を実施した。令和2年度は、新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から中止となったものの、令和元年6月から開講した「未来創造塾」については、リモートでの会議を実施するなどして、4つの政策提案をするに至った。この間、塾生においては政策提言をはじめとしたスキルアップが図られた他、将来にわたって圏域で連携することの気運が醸成された。 今後は、新型コロナウイルス感染症の感染状況を見きわめ、引き続き研修を実施し、圏域全体の職員の資質及び公務能力の向上に向けて取り組む。</p>
	KPI (重要業績評価指標)	R1 目標値	R1 実績値	R2 目標値	達成率				
	圏域職員対象の研修会 開催回数【単年】	3回	3回	3回	100.0%				
17	雇用対策		若年求職者、女性、UIJターン希望者等の各種就労支援に取り組む。			商工観光部会	<p>&lt;移住・定住就労促進事業&gt; ○合同企業面接会(労働局・県・大分市等主催)での大分都市広域圏移住相談ブースの設置(8月・12月) ・8月：参加企業数：50社 参加者数100人(参加：大分市のみ)※他の都市のパンフレットを配布 ・12月：参加企業数：49社 参加者数129人(参加：大分市のみ)※他の都市のパンフレットを配布 ○広域ガイドブックの増刷</p>	<p>&lt;移住・定住就労促進事業&gt; ○令和2年8月14日に合同企業面接会(労働局・県・大分市等主催)が開催(44社82人が参加)され、大分都市広域圏及び各市町の移住ガイドブックを設置 ※新型コロナウイルス感染症の感染防止対策のため、大分都市広域圏移住相談ブースは設置しなかった。 ※次回の合同企業面接会(労働局・県・大分市等主催)は12月頃に開催予定 ○広域ガイドブックの増刷</p>	<p>各市町の移住・定住促進事業に関する現状・課題の共有、共同事業の検討等、定期的に担当者会議を開催しており、各市町の移住・定住施策に有益な情報共有ができることから、今後も継続して行う予定である。 また、関係機関と連携を強化し、効果的な取組を行っていく必要がある。</p>
	KPI (重要業績評価指標)	R1 目標値	R1 実績値	R2 目標値	達成率				
	県外に対する社会増減の均衡【単年】	0人	△1,496人 (H30△1,497人)	0人	未達成				
18	移住・定住対策		移住・定住希望者の様々なニーズに対応するため、地域の特性を生かした移住・定住対策に取り組む。			商工観光部会	<p>&lt;移住・定住就労促進事業&gt; ○合同企業面接会(労働局・県・大分市等主催)での大分都市広域圏移住相談ブースの設置(8月・12月) ・8月：参加企業数：50社 参加者数100人(参加：大分市のみ)※他の都市のパンフレットを配布 ・12月：参加企業数：49社 参加者数129人(参加：大分市のみ)※他の都市のパンフレットを配布 ○広域ガイドブックの増刷</p>	<p>&lt;移住・定住就労促進事業&gt; ○令和2年8月14日に合同企業面接会(労働局・県・大分市等主催)が開催(44社82人が参加)され、大分都市広域圏及び各市町の移住ガイドブックを設置 ※新型コロナウイルス感染症の感染防止対策のため、大分都市広域圏移住相談ブースは設置しなかった。 ※次回の合同企業面接会(労働局・県・大分市等主催)は12月頃に開催予定 ○広域ガイドブックの増刷</p>	<p>令和元年度は、労働局、県及び各市町と連携して移住相談の機会を積極的に創出してきた。また、大分市移住応援サイトなどによるPR効果もあり、目標値を上回る成果を上げている。 今年度は、新型コロナウイルス感染症の影響がある中、引き続き、圏域内に存在する地域資源の活用や磨き上げを行い、圏域内外に向けての情報発信や他分野と複合的な取組を行うなど、効果的な移住・定住対策につなげる必要がある。</p>
	KPI (重要業績評価指標)	R1 目標値	R1 実績値	R2 目標値	達成率				
	移住施策を活用した移住者数【累積】	1,295人	1,635人 (+457人)	1,600人	126.3%				

No.	取組項目	取組内容			部会	令和元年度事業実績	令和2年度取組事業	取組の評価と今後について
19	農林水産物の生産振興	農業技術、圏域内の農地、新規就農者等に関する情報の共有化を図り、規模拡大を目指す農業者及び就農希望者に情報を提供するなど、生産性向上並びに担い手及びそれを支える人材の確保・育成に取り組む。			農林水産部会	<p>&lt;担い手確保対策事業&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・広域圏就農相談会の開催（R2.2.11コンパルホール）</li> <li>・就農相談会出展（9月、1月東京、11月大阪）</li> </ul> <p>&lt;広域圏農業体験ツアーの開催&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・新型コロナウイルス感染症拡大により中止</li> </ul> <p>&lt;農業PR動画普及啓発事業&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・大分市公式ホームページの動画サイトで公開</li> </ul>	<p>&lt;担い手確保対策事業&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・広域圏就農相談会の開催（R3.2月コンパルホール予定）</li> <li>・就農相談会出展（未定）</li> </ul> <p>&lt;広域圏農業体験ツアーの開催&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・農業体験ツアー（R3.3月予定）</li> </ul> <p>&lt;農業PR動画普及啓発事業&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・大分市公式ホームページの動画サイトで公開</li> </ul>	<p>毎年、就農支援ガイドブックの作成や都市圏で開催される就農相談会に大分都市広域圏ブースを出展する他、新規就農バスツアーの開催も行っている。</p> <p>今年度は新型コロナウイルス感染症の影響で延期とした事業があるため、感染状況を見きわめ、今後の実施を検討する。</p> <p>また、引き続き、広域圏就農相談会等を企画し、ガイドブックを活用しながら本圏域の農業についてさらなるPRに努める中で、圏域での担い手の確保・育成につなげていく。</p>
	KPI (重要業績評価指標)	R1 目標値	R1 実績値	R2 目標値		達成率		
	農林水産業新規就業者数【単年】	183人	196人	183人		107.1%		
20	有害鳥獣の広域防除	鳥獣被害対策の効果を向上させるため、イノシシ、シカ、サル等、農林業に被害を及ぼす鳥獣の生息実態等の情報を共有するとともに、効率的な予防及び捕獲に向けた連携を図る。			農林水産部会	<p>&lt;ジビエ利活用支援事業&gt;</p> <p>道の駅のはるにて、ジビエ料理を提供した。</p>	<p>&lt;ジビエ利活用支援事業&gt;</p> <p>道の駅のはるにて、ジビエ料理を提供している。今後も引き続きジビエの認知度を広めていく。</p>	<p>有害鳥獣の広域防除を図るため「ジビエ利活用支援事業」による補助を民間業者に行う予定であったが、平成30年度は希望する業者がいなかったため、実績はなかったものの、道の駅のはるにおいては、猪の肉のジビエ料理を提供している。今年度はのはる音の森フェスティバルにおいてジビエの串焼きブースを設置し、来場者にジビエ肉の活用について周知できた。今後も引き続きジビエの認知度を広めていく。</p>
	KPI (重要業績評価指標)	R1 目標値	R1 実績値	R2 目標値		達成率		
	鳥獣被害額【単年】	104百万円	85百万円	104百万円		371.4%		
21	農林水産物の消費拡大	地域特産物の生産、加工及び販売について広域的な視点に立ち、圏域内外への消費拡大を目指した情報発信等に取り組む。			農林水産部会	<p>&lt;ブランドづくり対策事業&gt;</p> <p>○展示商談会への出展(アグリフードEXPO大阪)</p> <p>出展者数：8者 成約件数・金額：25件、5,620千円 参加自治体：（大分市、別府市、臼杵市、竹田市、由布市）</p> <p>○広域圏マルシェの開催</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・実施場所：別府湾サービスエリア（9/28～10/27の土日祭日）</li> <li>・販売金額：239千円（参加：大分市、別府市、由布市、臼杵市、豊後大野市）</li> </ul> <p>&lt;豊後料理普及PR事業&gt;</p> <p>10～11月をメイン期間とし、豊後料理を提供する店舗を募集した。また、ラグビーワールドカップ大分会場の試合当日に、豊後料理PRイベントを開催した。</p> <p>豊後料理提供店舗47店舗（大分市29店舗・別府市8店舗、由布市3店舗、津久見市3店舗、臼杵市2店舗、竹田市1店舗、豊後大野市1店舗）</p>	<p>&lt;ブランドづくり対策事業&gt;</p> <p>○展示商談会への出展(アグリフードEXPO大阪)</p> <p>令和3年2月出展予定であったが新型コロナウイルスの影響により中止</p> <p>&lt;豊後料理普及PR事業&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・10～11月をメイン期間とし、豊後料理を提供</li> <li>・豊後料理をPRする取組みを実施(9～11月)</li> </ul>	<p>毎年、圏域市町が連携し、大都市圏で行われる「アグリフードEXPO」などのイベントや商談展示会への出展、さらには別府湾サービスエリアなどで行う「広域圏マルシェ」を開催するなど地域産品の魅力を発信し、消費拡大を図ってきた。</p> <p>今年度は、新型コロナウイルス感染症の影響により、展示商談会「アグリフードEXPO」が中止になったが、今後も引き続き各市町と連携し、各種イベントへの出展や情報発信を行うことにより、本圏域の優れた食材の圏域内消費の活性化を図るとともに、6次化商品の国内大消費地への販路拡大など、圏域外への消費拡大につなげていく。</p>
	KPI (重要業績評価指標)	R1 目標値	R1 実績値	R2 目標値		達成率		
	圏域内乾しいたけ生産量【単年】	750トン	428.3トン	750トン		57.1%		
	公設地方卸売市場における水産物取扱金額【単年】	105億円	93億8,600万円	105億円		89.4%		
22	健康診断の受診率向上	住民が地域で安心して生活を営めるよう、健康診断の受診に係る啓発及び情報共有に取り組むことにより、健康診断の受診率向上を図る。			福祉保健部会	<p>健康診断の受診率の向上に向け市町の情報共有を図り、今後の周知方法を検討</p>	<p>健康診断の受診率の向上に向け市町の情報共有を図り、今後の周知方法を検討</p>	<p>今後も引き続き、各市町の健康診断の受診率向上に向けた取組について検討していく必要がある。</p>
	KPI (重要業績評価指標)	R1 目標値	R1 実績値	R2 目標値		達成率		
	特定健診受診率【単年】	41.4%	41.5%	41.4%		100.2%		

No.	取組項目		取組内容			部会	令和元年度事業実績	令和2年度取組事業	取組の評価と今後について
23	相談支援機能の強化		高齢者、障がい者等が地域で安心して生活を営めるよう、相談体制等に係る連携強化を図るなど、支援体制の充実に取り組む。			福祉保健部会	<p>&lt;高齢者SOSネットワーク事業&gt; 県下統一の取組として実施</p>	<p>&lt;高齢者SOSネットワーク事業&gt; 県下統一の取組として実施</p>	<p>徘徊のおそれのある認知症高齢者等が行方不明になった場合に各市町が連携して早期の発見・保護につながるよう支援事業として、圏域内の市町と連携し取り組んできたが、平成30年度に大分県の事業として取り組まれ、県全体の事業として発展的に移管した。</p>
	KPI (重要業績評価指標)	R1 目標値	R1 実績値	R2 目標値	達成率				
	高齢者SOSネットワーク登録者数【累積】	1,332人	1,657人 (+389)	1,500人	124.4%				
24	地域子育て支援の充実		地域で生まれた子どもたちを地域社会全体で育てていくため、子どもを産み、育てやすい地域を目指して、子育て支援サービス等の質の向上、改善等を図るための連携を推進する。			福祉保健部会	<p>&lt;小児夜間急患センター運営支援事業&gt; &lt;大分市 小児夜間急患センター&gt; 大分市を除く圏域からの受診者：228人（31年4月～R2年3月） ・1ヶ月あたり19人（受診者数：2,221人〈大分市1,908人〉）</p> <p>&lt;別府市 別府市保健センター内の夜間こども診療&gt; 別府市を除く圏域からの受診者：1,178人（31年4月～R2年3月） ・1ヶ月あたり98人（受診者数：3,876人〈別府市 2,712人〉）</p>	<p>&lt;小児夜間急患センター運営支援事業&gt; &lt;大分市 小児夜間急患センター&gt; 大分市を除く圏域からの受診者：27人（R2年4月～R2年9月） ・1ヶ月あたり5人（受診者数：381人〈大分市350人〉）</p> <p>&lt;別府市 別府市保健センター内の夜間こども診療&gt; 別府市を除く圏域からの受診者：112人（R2年4月～R2年9月） ・1ヶ月あたり18.7人（受診者数：937人〈別府市 717人〉）</p>	<p>各市町において病児病後児保育実施施設の整備や待機児童の解消に向けた対策に取り組んでいるところであり、今後も引き続き情報の共有を続けるとともに、子育て支援サービス等の質の向上、改善等を図るための連携について検討を行っていく必要がある。</p>
	KPI (重要業績評価指標)	R1 目標値	R1 実績値	R2 目標値	達成率				
	病児病後児保育実施施設数【累積】	16施設	19施設	17施設	116.3%				
待機児童数【単年】	0人	10人	0人	97.9%					
25	特定外来生物の広域防除		生態系、人、農林水産物等への被害を及ぼすおそれのある特定外来生物の圏域内外からの一掃に向け、広域防除に取り組む。			環境部会	<p>&lt;特定外来生物広域防除事業&gt; ○生息調査・捕獲作業の報告に係る共通様式の作成 共通の報告様式を事務局が作成し、様式を統一することで共通認識可能な情報共有を図った。 ○「巣箱型ワナ」の導入 大分市が設置し、各自治体で捕獲作業を実施した（令和元度は日出町に2台、由布市に1台設置）。 ※「巣箱型ワナ」とは大分市が捕獲用具として使用している「餌不要のワナ」のこと。導入を希望する市町に大分市が貸与する。</p>	<p>&lt;特定外来生物広域防除事業&gt; ○今年度の大分都市広域圏環境部会は、新型コロナウイルス感染症の影響により9月末日まで未開催（年度内に大分都市広域圏環境部会を招集予定）。 ○令和2年度は「巣箱型ワナ」を別府市に1台、臼杵市に1台設置している。 ○今後、豊後大野市に「巣箱型ワナ」を設置する予定。</p>	<p>県の報告によると、隣接する自治体から越境してきた特定外来生物でのアライグマが交配し、増殖していることが確認されている。 令和元年度は、各市町の担当者によって構成される担当者会議を開催し、アライグマ防除業務の促進、専門性の高い情報や知識をお互いに提供・交換する機会ができた。 また、各市町におけるアライグマの生息調査及び特定外来生物の防除啓発ポスターを連携市町で作成し、啓発を行った。今後も、引き続き、各市町と連携し特定外来生物の防除に努めていく。</p>
	KPI (重要業績評価指標)	R1 目標値	R1 実績値	R2 目標値	達成率				
	アライグマ捕獲努力量 (わな個数×わなかけ日数)	10,000	82,331	10,000	823.3%				
26	資源循環型社会の形成		資源循環型社会の形成を図るため、一般廃棄物の資源化及び排出量の削減に取り組む。			環境部会	<p>&lt;循環型社会形成推進事業&gt; ・大分都市広域圏環境部会会議の開催 ・大分都市広域圏資源循環型社会形成推進事業住民向け講演会を開催（さかなクンのギョギョっとビックリ！！お魚講座～お魚と海の環境について～講師：さかなクン氏） ・啓発パンフレットの作成及び配布（海洋プラスチックごみ問題）</p>	<p>&lt;循環型社会形成推進事業&gt; ・啓発パンフレットの増刷及び配布（海洋プラスチックごみ問題）</p>	<p>令和元年度は「廃プラスチックの削減及び適正処理の推進」をテーマに啓発資料の作成・配布、さらには12月にさかなクン氏を講師に招き、無料講演会を実施した。 今年度は、海洋プラスチックごみ問題に関する啓発パンフレットの増刷、紙芝居や絵本、アニメーションDVDを作成し、配布することで循環型社会形成の促進に向けた啓発活動を推進する。</p>
	KPI (重要業績評価指標)	R1 目標値	R1 実績値	R2 目標値	達成率				
	資源化量【単年】	59,000トン	50,416トン	59,000トン	85.5%				
27	水源流域の水環境の改善		水源流域の現状把握及び水環境の有効的な改善を行うため、情報共有・連絡体制の構築を図る。			環境部会	<p>水源流域の環境保全についての課題の共有や連絡体制の構築に取り組む</p>	<p>水源流域の環境保全についての課題の共有や連絡体制の構築に取り組む</p>	<p>水源流域の環境保全について課題の共有を各市町と連携して行うとともに、今後は広域での汚濁防止や水質保全に向けた啓発など、水源流域の水環境の改善に向けた取組について検討をする必要がある。</p>
	KPI (重要業績評価指標)	R1 目標値	R1 実績値	R2 目標値	達成率				
	公共用水域の環境基準(BOD)達成率【単年】	100%	94%	100%	94.0%				

No.	取組項目	取組内容	部会	令和元年度事業実績	令和2年度取組事業	取組の評価と今後について			
28	地域公共交通ネットワークの維持・形成	地域住民の移動手段の確保、利便性の向上等を図るため、地域公共交通ネットワークの維持・形成に連携して取り組む。	都市基盤部会	<p>&lt;バス等の公共交通広域マップ周知事業&gt;  大分市都市広域マップ「みんなののりもの便利帳」を市内の中学校や掲載施設等で配布。</p>	<p>&lt;バス等の公共交通広域マップ周知事業&gt;  大分市都市広域マップ「みんなののりもの便利帳」を市内の中学校や掲載施設等で引き続き配布する。</p>	<p>令和元年度に引き続き、圏域内の公共交通によるアクセス方法の紹介を行う「みんなののりもの便利帳」を配布する。  今後も引き続き、さらなる公共交通機関の利用の促進につながる取組を行っていく。</p>			
	KPI (重要業績評価指標)	R1 目標値					R1 実績値	R2 目標値	達成率
	圏域内鉄道1日あたり乗降人員【単年】(再掲)	120,000人					-	120,000人	-
29	広域幹線道路網の整備促進	圏域内の交通の円滑化を図るとともに、防災性と代替性に富む多極ネットワーク型の地域構造を構築するため、高規格道路網をはじめとする広域幹線道路網の整備を促進する。	都市基盤部会	<p>大分県市町村合同事務局で意見を集約し、各種関係団体を通じて国・県に要望</p>	<p>大分県市町村合同事務局で意見を集約し、各種関係団体を通じて国・県に要望</p>	<p>平成29年度 大分都市広域圏推進会議で出された意見をもとに、今年度は各市町の公共交通に関する課題について圏域内で共有を行った。  今後も引き続き、各市町で課題や情報の共有を図るとともに、道路網の整備促進については必要に応じて関係機関との調整を検討していく。</p>			
	KPI (重要業績評価指標)	R1 目標値					R1 実績値	R2 目標値	達成率
	圏域内観光入込客数【単年】(再掲)	25,000,000人					23,000,731人	25,000,000人	92.0%
30	減災・防災体制の充実	大規模災害発生時等における相互応援の円滑化及び地域防災力の向上を図るため、減災・防災体制の充実を図る。	防災部会	<p>&lt;災害時における相互応援&gt;  警戒レベルを用いた避難情報の発令について、情報共有を行い、緊急速報メール等の文言についてもある程度統一した表現にすることを確認した。  また、トイレトレーラーの有効性について、協議したが、平時の利用方法や維持管理、移動にはけん引免許が必要なことなど課題が多く、導入は困難との結論に至った。  南海トラフ地震臨時情報の運用開始に伴い、事前避難対象地域を確認するため、県に対して30分以内に30cmの津波が到達する地区があるのか再度検証するよう申し入れを行った。</p>	<p>&lt;災害時における相互応援&gt;  コロナ禍での避難について、検討するとともに、各市町の取り組み状況について情報共有を図ることとしている。  6月に防災部会を開催する予定であったが、コロナの影響で延期となっている。  年度内に1度会議を開催予定。  出水期の対応を終えて、各市町の災害対応における課題等について協議のうえ、情報共有する予定。</p>	<p>平成30年度から大分県内18市町村による、市長会町村会合同防災部会を組織し、県内市町村間の連携強化に取り組んでいる。  大規模災害発生時等における相互応援の円滑化及び地域防災力の向上を図るため、令和3年度以降は、大分都市広域圏内の構成市町はもとより、全県下の市町村での減災・防災体制の充実を図る。</p>			
	KPI (重要業績評価指標)	R1 目標値					R1 実績値	R2 目標値	達成率
	自主防災組織避難訓練等実施率【単年】	70%					35.1%	70%	50.1%
31	救急搬送体制の連携強化の推進	広域的な視点に立ち、人命重視の救急活動を行い、救急搬送体制の連携強化に取り組む。	防災部会	<p>救急搬送体制の連携強化を図るため、圏域内で消防職員合同訓練を実施</p>	<p>救急搬送体制の連携強化を図るため、圏域内で消防職員合同訓練を実施</p> <p>&lt;消防指令業務の共同運用に係る準備事業&gt;  ・「連携・協力実施計画」の策定及び「基本協定書」の締結  ・協議会、幹事会、専門部会を適宜開催</p>	<p>令和元年度は、県下最大規模の消防本部を有する大分市が中心となり、県内各市町の消防本部と消防指令業務の共同運用に向けた協議を開始した。消防指令システムの設備・運用に係る財政・人員負担の軽減、災害情報・活動情報の一元管理による相互応援の迅速化等、住民の安全・安心の確保が期待される。今後、大分都市広域圏連携市町の他、10市町村を加えた全県1区で、令和6年4月の共同運用開始に向けて準備を進めていく。</p>			
	KPI (重要業績評価指標)	R1 目標値					R1 実績値	R2 目標値	達成率
	圏域内消防職員合同訓練実施回数【累積】	3回					11回(+8)	4回	366.7%
32	一般廃棄物の広域処理 (大分市、臼杵市、津久見市、竹田市、豊後大野市、由布市)	資源循環型社会及び低炭素社会の形成を図るため、地球温暖化対策の推進及び一般廃棄物の広域的処理に取り組む。	一般廃棄物処理施設	<p>&lt;新環境センター整備事業&gt;  ・一般廃棄物処理施設整備部会を4回開催(平成29年度からの通算:20回)  ・「新環境センター整備における建設予定地の決定に関する覚書」を6市にて締結  ・当該予定地の取得に向けた「新環境センター建設用地取得事業」や周辺環境に及ぼす影響等を予測・調査・評価するための「新環境センター整備に係る環境影響評価業務委託」を発注</p>	<p>&lt;新環境センター整備事業&gt;  ・一般廃棄物処理施設整備部会を2回開催(平成29年度からの通算22回)し、年度内に2回開催予定。  ・6市副市長による意見交換を1回開催(平成30年度からの通算5回)し、年度内に1回開催予定。  ・新環境センターにおける事業手法の検討のための「新環境センター整備に係るPFI等導入可能性調査業務委託」を発注済みであり、年度内に事業手法を決定する予定。  ・新環境センター整備に係る先進地視察(6市合同にて実施)</p>	<p>定期的に一般廃棄物処理施設整備部会や6市副市長による意見交換を開催することで、6市共通認識の元、事業を実施することができている。  令和3年度からは整備事業者(事業手法によっては運営事業者も含む)の選定に着手する予定であり、引き続き6市協議により事業を進め、令和9年度稼働開始を目指す。</p>			
	KPI (重要業績評価指標)	R1 目標値					R1 実績値	R2 目標値	達成率
	圏域内ごみ処理量【単年】	204,000トン					209,141トン(+3,112)	204,000トン	未達成